

山田町立山田小学校新校舎 基本構想

令和2年12月

山田町教育委員会

目次

1 基本構想の目的等

(1) 目的

(2) 基本構想の概要

(3) 山田小学校施設の概況

(4) 山田町の人口と小学生人口の推移

2 新山田小学校の基本方針

(1) 基本理念

(2) 基本方針

(3) 整備方針

3 整備スケジュール

4 その他

参考資料

- ・ 山田小学校新校舎建設への願い

1 基本構想の目的等

(1) 目的

山田町では、少子化の進行に伴う複式学級の解消や部活動の充実などを図るため、平成29年度に山田町学校規模適正化検討委員会を設置し、その提言・意見をもとに翌30年度から保護者や地域住民と協議を重ね、従前の小学校9校、中学校2校を再編し、令和2年4月から小学校3校、中学校1校の新体制でスタートを切りました。

このうち、6校が統合して新設された山田小学校は、旧山田南小学校の校舎を使用しておりますが、当該校舎は昭和56年の設置からすでに39年が経過し老朽化が著しくなっており、建て替えを検討する時期に来ております。

このことから、山田小学校の新校舎の建設に係る基本構想を検討するものです。

(2) 基本構想の概要

基本構想は、目指す将来像や基本的な方向性を示すものです。今回は、町や学校の教育目標、学校としての求められる姿を踏まえ、新築する学校施設に必要な機能や性能について検討します。

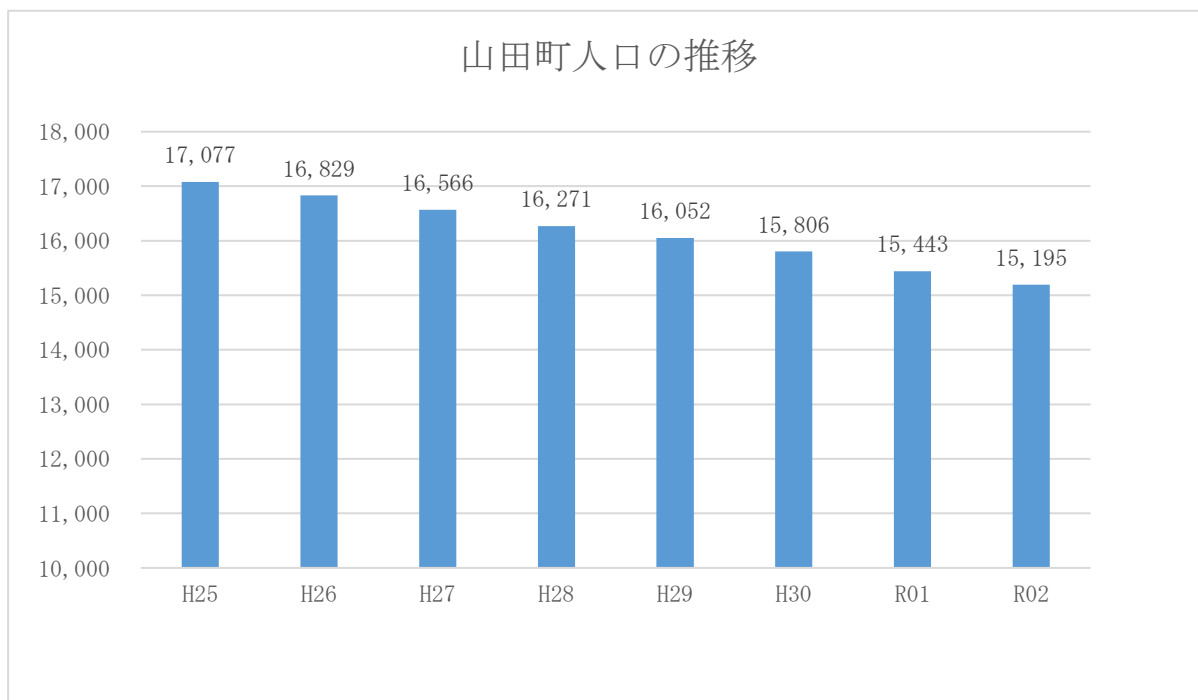
(3) 現在の山田小学校の施設概要



学校名	山田小学校（旧山田南小学校）	学級数	15 学級
所在地	山田町飯岡第 7 地割 70 番地 1		
敷地面積	6,915 m ²		
校舎建設面積	4,711.35 m ²		
屋内運動場面積	981 m ²		
校舎の概要	竣工：昭和 56 年 3 月 構造：鉄筋コンクリート造 3 階建 （設備概要） 普通教室 13 室、特別支援教室 2 室、ことばの教室 2 室、特別教室 8 室、その他（職員室ほか） 27 室		
屋内運動場の概要	竣工：昭和 57 年 3 月 構造：鉄骨造		
プールの概要	竣工：昭和 60 年 11 月 材質：FRP 規格：25m屋外型 6 レーン プール深さ：メイン 1.0m サブ 0.7m		

(4) 山田町の人口と小学生人口の推移

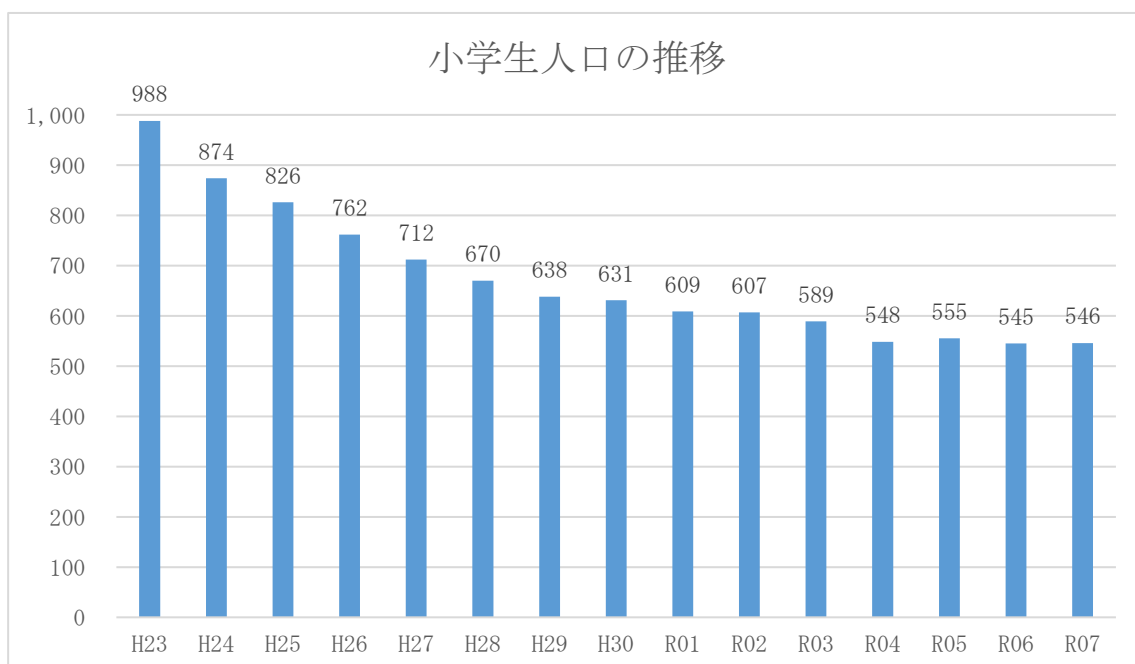
山田町の人口は、平成 25 年度から毎年 2 % 弱の割合で減少を続けています。



参考：町民課「年齢別人口調」

このうち、小学校対象年齢（7歳～12歳）の人口についても町全体と同様に減少傾向にあります。町全体の減少率よりもやや減少傾向は大きく、令和7年には町全体で546人程度となることが予想されます。

※令和3年度以降の人口については、令和2年度時点で2歳から6歳の人口を推計値として使用しています。（転入転出、学区外通学の要素は加味しておりません）



参考：町民課「年齢別人口調」

2 新山田小学校建設の基本方針

(1) 基本目標

学校施設は子供たちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件の一つであります。また、地域コミュニティの拠点であるとともに、地域の防災拠点としても重要な役割を担っています。

学校施設がこのような役割を果たしていくためには、学校施設は常に子供たちの学習・生活の場としてふさわしい機能を備える必要があるとともに、地域住民の生涯学習等の場、応急避難場所等としての機能も備えておく必要があります。

本町では、平成29年度に策定された第10次山田町教育振興基本計画において、町民一人ひとりが個性を生かし、生涯を通じて創造的に学び続けることができるよう、次のとおり教育振興における基本目標を定めています。

教育振興の基本目標

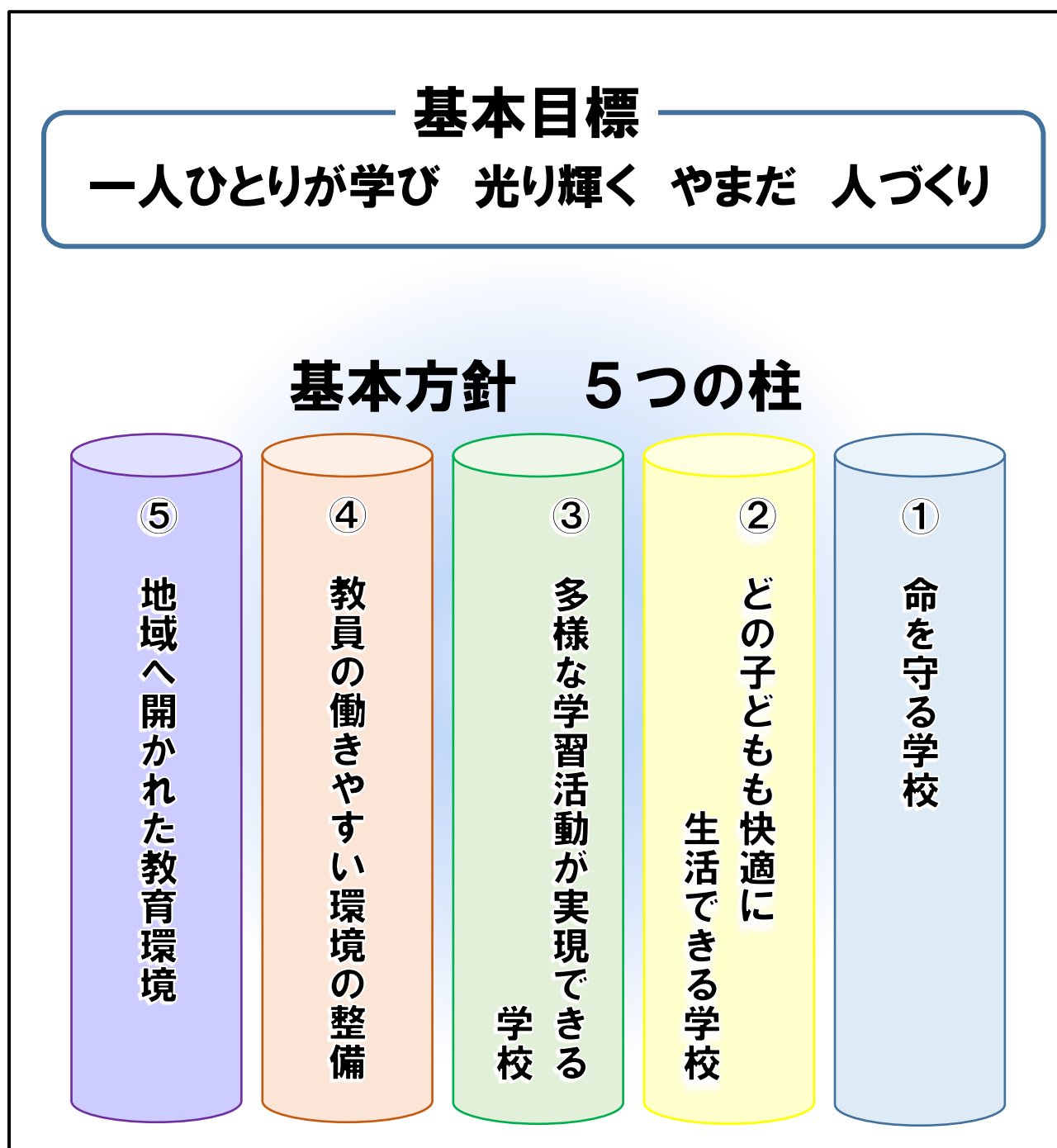
一人ひとりが学び 光り輝く やまだ 人づくり

子どもたちがさらに安心して学校生活を送ることができるよう、災害に強く、安全かつ機能性に優れた校舎とすることを願い、上記基本目標を校舎建設における基本目標とします。



(2) 基本方針

校舎建設にあたり、基本目標を実現するため教育委員会として学校に求める姿を「山田小学校新校舎建設への願い」としてまとめ、特に重視する項目を次の5つの柱とし、学校建設の基本方針とします。



(3) 整備方針

基本方針を踏まえ、山田小学校の整備方針を次のとおり設定します。

基本方針	整備方針	
①命を守る学校	(1) 災害に強い学校	津波、地震、風水害に強い学校施設
		防災機能を備えた学校施設
		交通環境が充実した学校施設
	(2) 防犯・事故への対応の充実	防犯カメラの設置
		不法侵入を防ぐ防犯設備の設置
		警察所、消防署、病院と連携した対応が可能な施設
②どの子どもも快適に生活できる学校	(1) 学習環境の充実	ゆとりあるスペースで安心して学ぶことのできる環境
		潤いがあり心豊かに生活できる環境
		熱中症対策として空調設備の設置
		小学校と中学校の共用スペースの設置
	(2) 特別な支援を要する子どもたちへ配慮した施設	クールダウンできる空間の整備
		バリアフリーに配慮した環境
③多様な学習活動が実現できる学校	(1) 学校図書館の充実	調べ学習を充実させる豊かな蔵書
		読み聞かせが可能な場所の整備
		のびのびと読書が可能なスペースの確保
		町立図書館と連携する図書館司書の配置
	(2) 多様な社会に対応するICTの充実	一人1台パソコンによる多様な学習への対応
		校内無線 LAN の整備による調べ学習や教科に応じた学習への対応
		デジタル教科書等を活用する多様な学習形態への対応
	(3) 運動施設の充実	各種スポーツに対応した体育館の建設
		外遊びや体育の授業に対応した十分な広さのあるグラウンドの建設
校庭内の遊具の充実		
④教員の働きやすい環境の整備	(1) 校務支援システムを活用した事務負担の軽減	
	(2) 教科の特性を生かす特別教室の機能の充実	
⑤地域へ開かれた教育環境	(1) 地域との交流の場を備えた施設	地域の方が利用できる会議室の設置
		地域に開かれた学校施設
	(2) 学びの空間と避難所機能との両方を有した施設	避難所機能と学校施設の両立化

(4) 整備方針の詳細

項目ごとの詳細については次のとおりです。

①命を守る学校

(1) 災害に強い学校

・津波、地震、風水害に強い学校施設

自然災害の被害を受けにくい、川から離れた高台への建設を計画します。

・防災機能を備えた学校施設

備蓄倉庫や自家発電設備、貯水タンクなど災害発生時の避難所としての機能の充実を図ります。

・交通環境が充実した学校施設

主要道路や交通機関との距離も近くすることで、通学しやすく、また非常時には避難しやすい道路環境を整備します。

(2) 防犯・事故への対応の充実

・防犯カメラの設置

不審者から児童、学校を守るため学校敷地内に防犯カメラの設置を計画します。

・不法侵入を防ぐ防犯設備の設置

不法侵入等を防止するため防犯設備の設置を計画します。

・警察所、消防署、病院と連携した対応が可能な施設

非常事態発生時に迅速に対応できるよう、近接する関係機関との連携強化を図ります。



②どの子どもも快適に生活できる学校

(1) 学習環境の充実した校舎

・ゆとりあるスペースで安心して学ぶことのできる環境

明るく圧迫感のない廊下や、少人数指導・習熟度別指導に対応できるスペースを確保しゆったりとした空間で学ぶことができるような校舎を計画します。

・潤いがあり心豊かに生活できる環境

掲示物や作品展示ができるような設備や、植え込みや花壇などを設置し自然と触れ合うことができる校舎を計画します。

・熱中症対策として空調設備の設置

子どもたちの熱中症を防止するため、校舎内にエアコンを整備します。

・小学校と中学校の共用スペースの設置

小学生と中学生の交流に活用できる共用スペースの設置を計画します。

(2) 特別な支援を要する子どもたちへ配慮した施設

・クールダウンできる空間の整備

気持ちの落ち着けや気分転換ができる空間を整備し、特別な支援を要する子どもやその保護者が安心して学校生活を送ることができるような施設づくりを計画します。

・バリアフリーに配慮した環境

手すりやスロープ、エレベーター、多目的トイレなど、バリアフリーに最大限配慮した校舎を計画します。

・相談室の設置

悩みを抱える子どもたちのプライバシーに配慮した相談室を設置します。



③多様な学習活動が実現できる学校

(1) 学校図書館の充実

- ・調べ学習を充実させる豊かな蔵書

調べ学習に対応できる蔵書の充実を図ります。

- ・読み聞かせが可能な場所の整備

本の読み聞かせができるスペースを計画します。

- ・のびのびと読書が可能なスペースの確保

自由にのびのびと読書を楽しめるよう、寝っ転がりスペースなどを計画します。

- ・町立図書館と連携する図書館司書の配置

町立図書館と連携した活動ができるよう、学校図書館に図書館司書の配置を検討します。

(2) 多様な社会に対応する ICT の充実

- ・一人1台パソコンによる多様な学習への対応

児童一人1台のタブレット機器等の端末を配備し、これからの時代に対応した学習環境を整備します。

- ・校内無線LANの整備による調べ学習や教科に応じた学習への対応

校内のどこにいてもタブレット機器等を活用できるよう、校内無線LANを整備します。

- ・デジタル教科書等を活用する多様な学習形態への対応

デジタル教科書や電子黒板など、新しい学習形態に対応できる環境を整備します。

(3) 運動施設の充実

- ・各種スポーツに対応した体育館の建設

体力や運動能力の向上を図るため、各種スポーツに対応することができる体育館を計画します。

- ・外遊びや体育の授業に対応した十分な広さのあるグラウンドの建設

子どもたちがのびのびと体育の授業や業間の外遊びができるよう十分な広さをもったグラウンドの整備を計画します。

- ・校庭内の遊具の充実

身体能力の向上や外遊びがさらに楽しいものとなるよう、充実した遊具の整備を計画します。

④教員の働きやすい環境の整備

(1) 校務支援システムを活用した事務負担の軽減

教職員の負担軽減を図るため、校務支援システムを新小学校においても導入し、執務効率を向上させることで、子どもたちと向き合う時間の確保を図ります。

(2) 教科の特性を生かす特別教室の機能の充実

各教科の特徴や魅力がより一層伝わるよう、音楽室や理科室、図画工作室などの特別教室を教科の特性に応じた機能の充実を図ります。

⑤地域へ開かれた教育環境

(1) 地域との交流の場を備えた施設

・地域の方が利用できる会議室

学校運営協議会や教育振興運動など地域の方が利用できるスペースの設置を計画します。

・地域に開かれた学校施設

学校施設を開放し、体育館を地域の方が利用できるよう計画します

(2) 学びの空間と避難所機能との両方を有した施設

・避難所機能と学校施設の両立化

避難所として利用している期間も子どもたちが学校生活を継続できるよう、避難所機能と学校機能が両立できる施設を計画します。



3 整備スケジュール

工事種別ごとのおおよそのスケジュールは次のとおりです。

工 種	年度	R2				R3				R4				R5				R6
	四半期	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
建設基本構想			→															新校舎供用開始
建設基本設計委託				→														
建設実施設計委託							→											
工事管理業務委託											→	→	→	→	→	→	→	
既存施設解体工事								→										
校舎建設工事											→	→	→	→	→	→	→	
体育館建設工事															→	→	→	
プール建設工事															→	→	→	

4 その他

令和2年8月に開催された山田町議会定例会において、佐藤信逸町長が所信表明の中で「中学校周辺を文教エリアとして位置づけ、教育施設を集約化し、効果的・効率的な教育環境の実現に向けた取組も進める必要がある」と述べました。

文教エリアとは山田中学校周辺の区域に教育施設を集約し、効率的・効果的な教育環境の実現を図ることを目的としたもので、構成施設は山田小学校、山田中学校、学校プール、学校給食センター、山田体育館となります。

○文教エリアに期待されること

(1) 小中学校が連携して取り組むことのできる環境

小学校と中学校の距離が近くなることで教員同士の距離も近くなり、生徒指導について情報共有をより迅速に行うことができるようになります。また、両校で生徒指導対応を整理し、共有することでより多くの目で見ながら生徒指導ができるようになることが期待されます。

(2) 中学校生活のイメージを持つことのできる環境

小学生が身近で中学生の活動の様子を目にすることで、中学校生活をイメージしやすくなり、中1ギャップへの対策として一定の効果が期待されます。また、中学生も小学生に見られていることを意識した行動をとるようになり、非行防止にも一定程度の効果が期待されます。

(3) 給食センターを生かす食育の一層の推進

給食センターと学校が行き来しやすくなり、作業見学や栄養教諭による授業などを通じて食育のより一層の推進が期待されます。

参 考 资 料

山田小学校新校舎建設への願い

令和2年6月16日
山田町教育長
佐々木 茂人

はじめに

山田小学校新校舎の建設が始まります。新校舎建設は町の子どもたちにとって新しい学びの場のスタートとなるとともに多くの町民が期待を寄せています。

本町は東日本大震災で大きな被害をこうむりました。被災した船越小学校は全国に先駆け再建され復興のシンボルともなりました。山田小学校新校舎建設に当たっては、子どもたちがさらに安心して生活できる災害に強い安全かつ機能性に優れた校舎とすることが望まれます。

昨今、情報化社会が進み、A Iの進歩や生活様式の変化など、今後、子どもたちは予測困難な社会へ挑戦していくこととなります。新しく建設される学校は、子どもたちの社会を生き抜く力を育む教育の中心であることを願っています。

また、特別な支援が必要な子どもたちへの対応も大きな課題であります。バリアフリーはもちろんのこと、どの子にとっても生活ストレスが少なく、個性豊かにのびのびと生活できる校舎の建設が望まれます。

子どもたちの活気にあふれ希望に満ちた校舎建設を実現するため以下を望む校舎といたします。

I 命を守る学校

1 災害に強い学校

(1) 津波、地震、風水害に強い学校施設

ア 高台への建設

イ 川から離れた場所への建設

(2) 防災機能を備えた学校施設

ア 防災倉庫、防災トイレ、情報通信、太陽光発電（蓄電池）、自家発電機、貯水タンクの設置等を備えた施設

(3) 交通環境が充実した学校施設

ア 災害時に避難しやすい道路環境を備えた施設

2 防犯・事故への対応の充実

(1) 防犯カメラの設置

(2) 強化窓ガラス等強固な施設

(3) 警察所、消防署、病院と連携した対応が可能な施設

II どの子どもにも快適に生活できる学校

1 学習環境の充実した校舎

(1) ゆとりあるスペースで安心して学ぶことのできる校舎

ア 明るく圧迫感のない教室や廊下

イ 少人数指導に対応した余裕教室の確保

(2) 潤いがあり心豊かに生活できる校舎

ア 掲示物や作品展示が工夫できる校舎

イ 花壇などの整備

(3) バリアフリーに配慮した環境

ア エレベーターの設置

イ スロープや手すりの設置

ウ 多目的トイレの設置

(4) 相談室の設置

(5) 空調設備による熱中症等への対応

(6) 特別な支援を要する子ども達へ配慮した施設

ア クールダウン用の小部屋の設置

Ⅲ 多様な学習活動が実現できる学校

1 学校図書館の充実（平湯モデル参照）

(1) 調べ学習を充実させる豊かな蔵書

(2) 読み聞かせが可能な場所の整備

(3) のびのびと読書が可能なスペースの確保（寝っ転がりスペース等）

(4) 町立図書館と連携する図書館司書の配置

2 多様な社会に対応するICTの充実

(1) 一人1台パソコンによる多様な学習への対応

(2) 校内無線LANの整備による調べ学習や強化に応じた学習への対応

(3) デジタル教科書等を活用する多様な学習形態への対応

3 運動施設の充実

(1) 体力・運動能力の向上が図られるよう各種スポーツに対応した体育館の建設

(2) 外遊びや体育の授業に対応した十分な広さのあるグラウンドの建設

Ⅳ 教員の働きやすい環境の整備

1 教員の事務負担の軽減のための校務支援システムの活用

2 教科の特性を生かす特別教室の機能の充実

Ⅴ 地域へ開かれた教育環境

1 地域との交流の場を備えた施設

2 学びの空間と避難所機能との両方を有した施設